

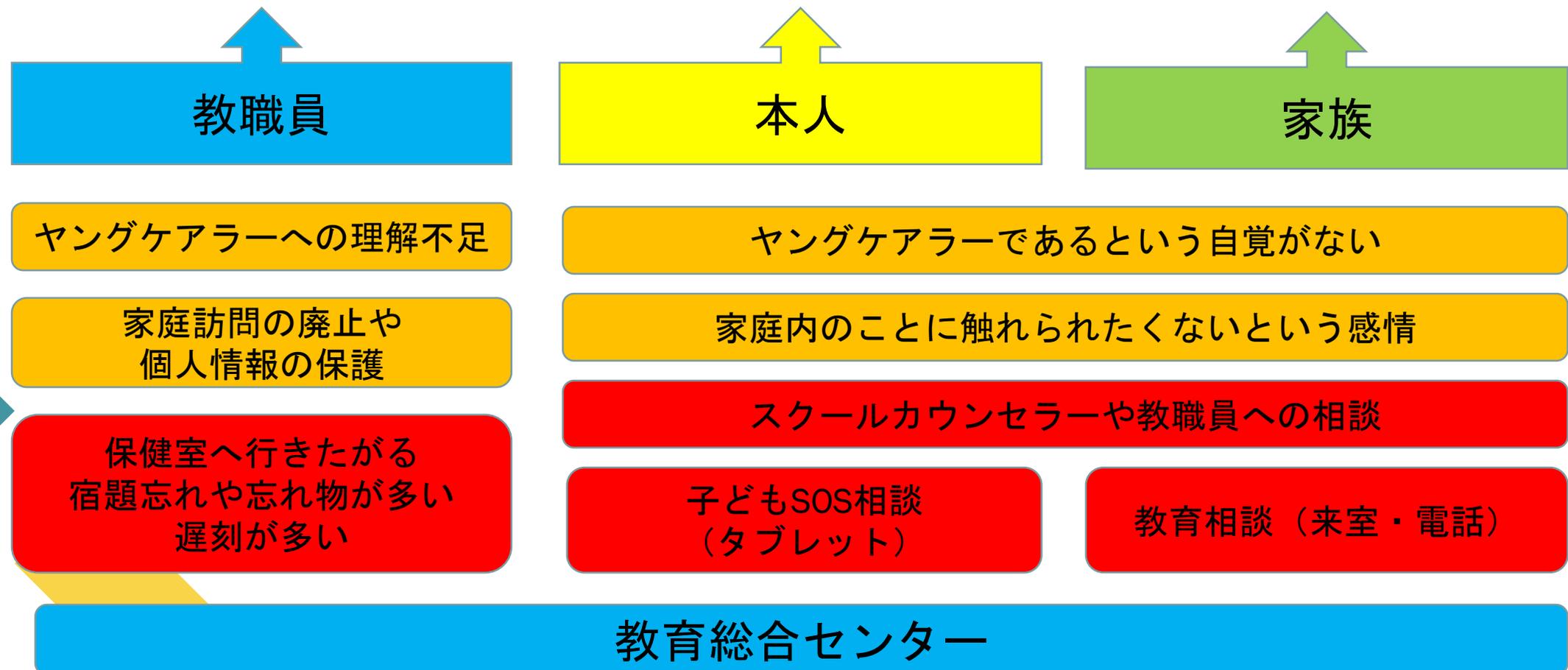
子どもたちを守り育てる セーフティネット

世田谷区立教育総合センター
センター長 宇都宮 聡
2023年12月14日



ヤングケアラーは表面化しにくい

ヤングケアラーは、家庭内のデリケートな課題であることや本人や家族に自覚がないという状況が多く、学校では早期発見がしにくく、支援へと発展しない場合がほとんどである。



研究 / 研修

教育研究

急激に変化する社会の中で、子ども一人一人が社会の担い手として自らが課題に向き合い判断して行動し、それぞれが思い描く未来を実現できる人材を育成する。世田谷区独自の教育理念「キャリア・未来デザイン教育」を推進するため、教育委員会主導の研究プロジェクト、各学校・幼稚園独自の研究活動の支援、先進自治体への教員派遣、教員研修の実施などを通して、優良な教育実践の開発・普及や人材育成などに取り組みます。

【主な取組み例】

- ・「せたがや探究的な学びの手引き」や「キャリアパスポート ハンドブック(仮)」の発行
- ・ICT環境整備や人的支援
- ・区内大学や民間企業、地域団体、区長部局等と連携した研究活動
- ・研究データや教育実践の共有システムの構築
- ・秋田県大館市等への教員派遣
- ・オンラインと通所によるハイブリッド型の教員研修 など

相談 / 支援

総合的な教育相談

※電話番号は奥面をご覧ください。

いじめや不登校、特別支援教育など教育に関する様々な相談に対応する「総合教育相談ダイヤル」を開設します。様々な相談に対し、課題が深刻化する前に不登校や特別支援教育の専門チームや学校と連携して解決に取り組みます。

【主な取組み例】

- ・総合的な教育相談体制の構築
- ・不登校支援チームの設置など

ほっとスクール「城山」

不登校児童・生徒の心の居場所であるほっとスクール「城山」を移転します。広いスペースを活かした新たな活動も取り入れながら、学校生活への復帰や自分らしい道路の実現に向け、支援の充実を図ります。

乳幼児教育支援センター

人間の持つ創造性や感性、自己肯定感、粘り強くやり抜く力など「これからの社会を生き抜くための土台となる力」を身に付けるために、公立・私立や幼稚園・保育所等の枠組みを超えて、子どもたちへの教育・保育の質の向上を目指します。幼稚園・保育所等の枠を超えた質の高い教育・保育を実践するための支援を行います。



【主な取組み例】

- ・世田谷区教育・保育実践コンパスの発行
- ・幼稚園教諭・保育士を対象とした人材育成など

遊び / 学び

様々な体験ができる区民利用エリア

※教育総合センターの開放時間は月～土曜日の9時～17時です。子どもは、遊びを通じて、新たな世界に出会い、体験を通じて学び、感じ、考えて、成長していきます。

STEAM教育

「らぼらボ」を主な会場として、プログラミングや科学実験など学校では体験できないような、様々なSTEAM教育の講座を毎週土曜日に実施します。

【小学生や就学前の幼児・親子が対象(満年齢に真なる)、申し込み制】

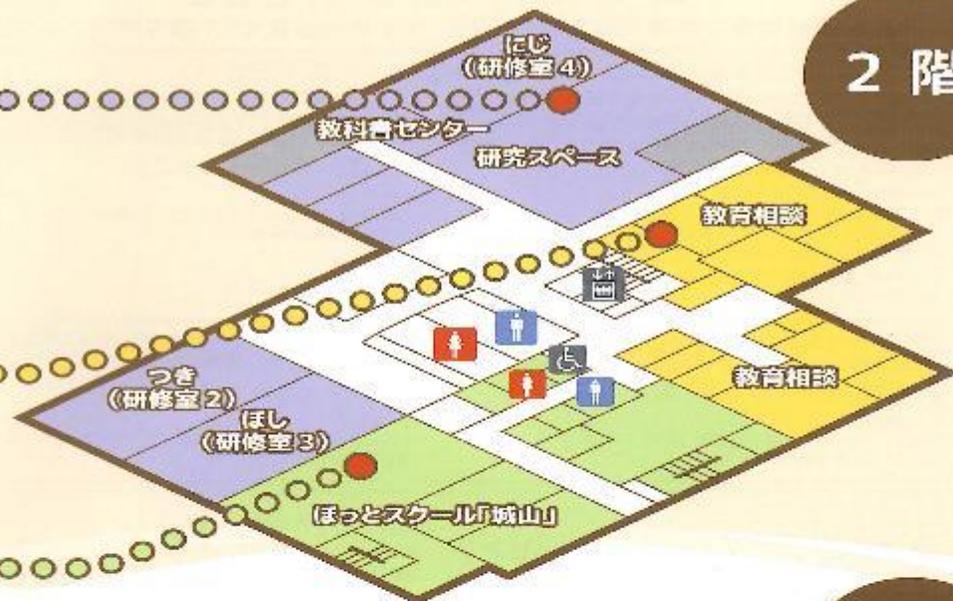
アトリエ・アート体験

「えがおの森(区民利用エリア)」では、非認知的能力を育むことを大きな目的に、アトリエ活動やアート体験に参加できます。リサイクル素材を使ったものづくりや、暗がりの中での光と影の変化などが体験できます。

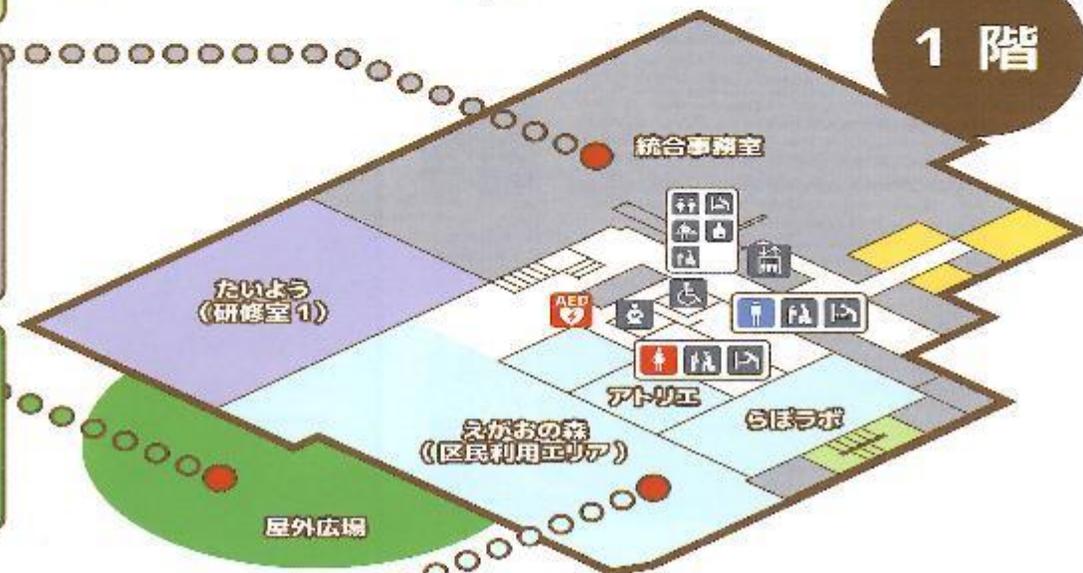
外遊び等

「屋外広場」は、公園のように誰でも自由に出入りできる遊生と土の広場です。

2階



1階



教育総合センターの支援体制

総合教育相談

- ・来室相談
- ・電話相談

アウトリーチ支援

- ・心理職とSSWによる支援
(学校訪問や福祉機関との連携)

区内3か所の
教育相談窓口

連携

子ども家庭支援センター
児童相談所 せたホッと
障害福祉部 子ども・若者部